

JLD議会 一般質問通告書

通告順番 1 番

通告者 大津北中学校 川邊 絵美菜 議員 宮崎 千寛 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>環境に配慮したエネルギー活用について</p>	<p>私達は、理科の授業でエネルギーの学習をしました。そのまとめとして考えたことをもとに3つのことを提案したいと思います。</p> <p>1つ目に、企業と連携して、室外機で発電できる機械を導入することです。</p> <p>現在、建物の増築に伴い室外機が増加しています。室外機でただ風を流すよりは使用する分だけ発電できると良いと考えました。</p> <p>また、大型施設などにも設置できるとその分町の電気使用量を削減することができると考えられるので実際に導入できると良いと考えました。ですが、室外機による発電機はまだまだ実証実験段階中のものなので、企業と連携してコストを抑えながら新しいエネルギーの導入に積極的に取り組むことを町としても検討していただけると良いと考えました。</p> <p>2つ目に、カーポートでの太陽光発電をすることについてお話したいと思います。</p> <p>ソーラーパネルを設置するときに山を切り開いて設置するということがあると思います。しかし、山を切り開くためには伐採しなければならないというのが課題です。もともとの環境を傷つけないようにするにはカーポートのようなすでにある施設に設置をしたりすると場所を取らず、環境を大切にする面でも良いと思いました。例を挙げると阿蘇くまもと空港にも広い駐車場があり、カーポートがある場所もあります。そこに太陽光発電を設置して利用すると良いと思います。</p> <p>また、私達児童、生徒は普段から二酸化炭素が排出されることのない自転車や、公共交通機関の利用が多いですが、車の免許を持っている方々はそれらの利用が少ないのではないかと考えています。そこで自転車や公共交通機関の利用が増えるよう、キャンペーンを行ってみたいはいかがでしょうか。熊</p>	<p>町長</p>

本市内で赤い自転車を見かけたことはありませんか。ご存じの方も居られるかもしれませんが、熊本市内で見られる赤い自転車の多くは「チャリチャリ」という、いつでもすぐに乗れて、気軽に移動できるシェアサイクルサービスの自転車です。このように自転車の利用率を上げることで毎日だけでなく、週に1日、2日でも自転車を利用することで、二酸化炭素の排出を抑えることができるようになるのではないのでしょうか。更に、公共交通機関を充実させることも二酸化炭素を削減することにつながっていくと考えます。

以上のことを踏まえて、町長に以下のことをお尋ねします。

環境に優しい町づくりを行うために、エネルギーの活用や使用量の削減などを推進する政策についてお尋ねします。

JLD議会 一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 大津中学校 濱田 慧斗 議員 渡辺 実咲 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>学校給食の課題と改善について</p>	<p>いつも私たちに給食を提供してくださり、ありがとうございます。私たちににとって身近な学校給食について質問をさせていただきます。</p> <p>まず私たちの学校の課題として、食べ残しが多いことが挙げられます。それは一品一品の出される量が多いこと、好き嫌いがあること、欠席が多いことなどが要因だと考えています。私たちも日々の給食を食べるうえで、給食委員会の「残菜チェックコンクール」などの取り組みで、食べ残しを減らそうと努力をしていますが、あまり変化が見られません。そこで提案が2つあります。</p> <p>1つ目は給食の献立のバリエーションを増やしてもらうことで、少しずつ食べ残しは減るのではないかとことです。具体的には、現在給食センターでは豆を豆としての形以外にもペースト状にしたりするといった、実際には見えない形で入れるなど工夫がされています。そのように同じ栄養で形を変えてより生徒が食べやすいような給食にすると残菜の軽減につながると思います。さらに大津中学校ではパンの残菜が多いという傾向があります。そこでパンをたくさん生徒が食べたいと思えるようジャムを出す回数を増やすことはできないでしょうか。しかしジャムを追加すると費用がかかってしまうということも挙げられます。そこでカレーのナンのように他の献立とセットで食べられるような給食を作っていただけると良いかと思います。私たちの学校の残菜が多くなる理由にも挙げている好き嫌いについても、味を少し変え食べやすい形にしてもらえると良いと思います。</p> <p>2つ目は給食の味を工夫していただけないかという提案です。この提案をするにあたってメリットとデメリットが挙げられます。まずメリットは色々な味のメニューを取り入れたりすることで給食を食べたいと思える人が増えるということです。デメリットは給食の味を変えることになると課題が出てしまうことです。この課題というのは給食センターのスペースが足りていないことがあると思います。今給食センターでは大津町の幼稚園、小学校、中</p>	<p>教育長</p>

学校などたくさんの給食を作っていただいています。スペースがとても狭いため作られる量や種類が限られています。そこで給食センターの増築やもう一つセンターをつくっていただけないかという提案をします。

今回、実際にJLD議会の事前学習会にて、給食センターの方とお話しさせていただくと、職員不足、栄養の整った献立や施設の狭さなど、様々な制限の中、大変な努力をされていることが伝わりました。

故に、現状の努力だけではこれらの問題の解消は難しいと考えています。

今後私たちができることとして、例えば、本校の生徒会活動で給食委員会が、どのような日に、どういった人がどのような理由で給食を残したなどの独自の調査を行い、給食センターへ提供させていただくなどのことを考えています。こうすることで、センター側が事前に、食べ残しの多い献立の細かい傾向を知り、費用削減、量を減らすなどの工夫ができるのではないのでしょうか。

こういった給食に関する、課題を大津町はどのように受け止めてらっしゃいますか。また、これらの課題をどのように改善すべきだと考えていますか。

JLD議会 一般質問通告書

通告順番 3 番

通告者 大津支援学校

酒井 珀羽 議員

石坂 凧央 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>大津町の交通安全について</p>	<p>まずは大津町の皆様、安全に登下校する為に道路に歩道の設置や、縁石の設置、横断歩道の設置などしてくださりありがとうございます。</p> <p>私たち大津支援学校の生徒は、保護者の送迎や通学バスなどで登校したり、電車やバス、自転車などを利用して自力で登校したりしています。今回の質問案では、自力で通学している生徒から3つの意見があがりました。</p> <p>1つ目は、見通しのよくない道路にカーブミラーを設置してほしいということです。通学途中にある翔陽高校とブリジストンの間の道の視界が悪く、危ないとの意見が出ております。雨の日など視界が悪い日でも運転手の方に私たちが横断歩道を渡っていることが確認できるようにしていただきたいです。</p> <p>2つ目は道路の水たまりをなくしてほしいです。雨が降ると翔陽高校前に水たまりができ、通学している生徒が車に水をかけられる経験をしているとの声が上がっています。水たまりはくぼみに水が溜まってできるものです。道路にくぼみがあると、水たまりができるだけでなく、車も安全に走行することが難しくなると思います。道路のくぼみを減らし、安全で安心な道を通いたいです。</p> <p>3つ目は安全に通学する為に自転車専用道路を作っていただきたいです。私たちは徒歩でも列を作って登下校するように意識しています。ですが、肥後大津駅から大津支援学校にかけての道は自転車を利用する方も多く、また、TSMCの関係でしょうか。車の通行も多い現状にあります。歩道を通る小学生や中学生、高校生など、これからの未来を担う若者が、万が一の事故に遭うことをなくすために、ぜひ自転車専用道路を作っていただきたいです。</p> <p>以上のことを踏まえて、大津町では交通安全について現在どのように考え、進められようとされているのかについて町長に質問致します。</p>	

JLD議会 一般質問通告書

通告順番 4 番

通告者 大津高等学校

山下 輝吉 議員

松本 碧心 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>坂道の不便さの改善と新たな視点での活用について</p>	<p>私たちは、大津町に坂が多いことによる生活の不便性の改善と、それに伴う観光資源の確保について質問したいと思います。</p> <p>大津町は阿蘇山に近く、熊本市との中間部であるとともに、通り道であり、北側が山間地になっており、非常に坂道が多いです。坂があることで運動になるから嬉しいと言う方もいる一方で、児童生徒の通学、自転車での通勤、はたまた趣味で阿蘇方面へ向かう人にとっては苦難の道になってしまいます。自分も毎日美咲野から大津高校へ通学していますが、毎日の自転車での通学はとてもきついです。同じように感じている人も多いと思います。</p> <p>例えば、翔陽高校の多くの生徒が通学路で通る「翔陽坂」と呼ばれる急勾配の坂や、「日吉神社」に行くまでの坂、美咲野までのかなり距離のある坂などがあり、そのあたりの学校に通っている児童生徒はかなり不便に感じているそうです。</p> <p>そこで、私たちは普段の生活の利便性を向上させるために、これらのどれかの坂道にサイクロケーブルという自転車リフト等を設けることができないかを質問します。</p> <p>サイクロケーブルというのは、この画像の通り（画像を見せる）、道路に設置されたレールについているペダルに自分の片足をはめると、自動で移動できるリフトのことです。</p> <p>例として、ノルウェーのトロンハイムの坂道にはサイクロケーブルという自転車リフトがあるそうです。自転車はもちろん、ベビーカーでも片足を乗せるだけでスイスイ登れるので子育て中の人にもおすすめです。また、事故が起きないように、お互いに協力して練習し合っているということで、地域交流の面でもとても活躍しているそうです。さらに、観光客にとっても目新しいものなので、現在でも非常に人気な設備だそうです。</p>	

このことは、地域の人たちの便利さが、観光資源にもつながることを示しています。

また、サイクロケーブルは歩道と区別するための柵を含めても非常にコンパクトに設置可能だそうです。例えば美咲野までの坂ならば、間近に建造物がないため設置するスペースがあるのではないのでしょうか。

このような自転車リフトを設置することは、町の利便性を向上させるだけでなく、観光の点でも意味があると考えられ、大津を起点に阿蘇までのサイクロケーブルを含めたお散歩ロードを作ったりすることで、観光資源にもなり、一石二鳥ではないかと考えます。

わたしたちは、海外の例であるサイクロケーブルを例に、街の人たちの利便性の向上とともに、新たな施設である観光資源にもなるのではないかと考えたところです。

そこで、このような新たな発想で街の利便性の向上や観光資源を創出することについて町長のお考えをお聞きします。

JLD議会 一般質問通告書

通告順番 5番

通告者 翔陽高等学校 梅田 莉帆 議員 阿南 來夏 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>外国人移住者や観光客支援、通学・通勤者支援について</p>	<p>現在の天津町は、町外からの通学・通勤者の増加、さらに県外・海外からの観光客も増加していることが目立ちます。実際に翔陽高校の生徒も町外からの通学者が多数を占め、その半数以上がJRやバスなどの公共交通機関を使っています。私たちもJRを活用して登校しているときに、外国人観光客が駅前で立ち往生をしていて困っている所を時々見かけたり、初めて天津町に通学する高校生などが困っていたりする様子を見てきました。</p> <p>そこで、私たちは、令和6年3月に出された「肥後天津駅周辺まちづくり基本構想」を参考に、観光面・通学面で利用しやすくなるような提案をします。</p> <p><外国人移住者、観光客支援></p> <p>一つ目として、外国人相談窓口は役場には設置してあり、様々な国籍の方々の対応ができるような策が講じられています。しかし、肥後天津駅からその役場までの行き方や、役場に入ってどの課に訪ねたらいいのかが知ることができる方法が整うとよいと思います。また、これはJRとの連携になるかもしれませんが、列車を降りてすぐの場所に「北口」「南口」そしてそれぞれの場所に何があるのか、などが記載されている看板の設置などを提案します。その際には、英語だけでなく中国語などの複数の言語や、誰でも分かるように天津町の小中高生が考えたオリジナルのピクトグラムを掲示するとさらに良いのではないのでしょうか。そうすることで、年齢・国籍関係なく多くの方が理解できるユニバーサルデザインの支援になると思われます。</p> <p><観光客、通学・通勤者支援></p> <p>二つ目に、天津町には公式 Instagram や公式LINEがあります。しかし私たちも知らなかったように、観光客や天津町への通学・通勤者の方々はあまり活用されていないと思います。天津町在住の方々はもちろん、その他の</p>	

地域の方々にも、もっと「大津町」を知っていただく上でも、既存のSNSなどをさらに拡張することを提案します。またこの公式 Instagram の担当者の方は役場の方かと思われるため、更新や内容もどちらかというと大津町民向けのものが多いような気がします。さらに大津町に通っている多くの方々に「大津町」のことを知ってもらうためにも、中高生や観光客などいろんな世代やいろんな方々からの情報提供が行えるように投稿BOXやアンケート機能の活用などをしてはどうでしょうか。

その提案の1つとして、駅の「北口」「南口」を出てすぐの場所にQRコードを貼り付けたいと思います。そこで行われた情報提供をもとに担当の方が発信できると、観光地としての「大津町」、通勤・通学しやすい「大津町」としてもさらに町の活性化につながるのではないかと考えます。また各学校のHPやSNSなどにこの大津町の公式SNSへのアクセスができるように働きかけをしてみることも提案します。

以上の提案について、町長のお考えをお聞きします。